

特別支援学校「キャリア教育」実践に関する 教員の意識調査（Ⅱ）

石山貴章（教育心理学科）、矢野川祥典（高知大学教育学部附属特別支援学校）、
宇川浩之（高知大学教育学部附属特別支援学校）、田中 誠（幼児教育学科）、
岡田信吾（教育心理学科）、下山真衣（教育心理学科）

Survey on Teachers' Consciousness in Providing "Career Education" at Special Needs School (Ⅱ)

Takaaki ISHIYAMA(Department of Educational Psychology)

Yoshinori YANOGAWA(School for Special Needs Education, University of Kochi)

Hiroyuki UKAWA(School for Special Needs Education, University of Kochi)

Makoto TANAKA(Department of Preschool Education)

Shingo OKADA(Department of Educational Psychology)

Mae SHIMOYAMA(Department of Educational Psychology)

抄録

近年、特別支援学校における「キャリア教育」の実践研究が数多く行われるようになってきている。本稿は、特別支援学校における「キャリア教育」の取組を明らかにしていくために、学校の実践や教員の意識について検討を行っている研究の続報（Ⅱ）である。今回は、教員の意識調査における満足度指数及び自由記述文から得られた記述データを基にして、CS分析及びテキストマイニングを行った。本研究の結果、特別支援学校教員における「キャリア教育」実践の満足度及び「キャリア教育」の評価観点ごとの教員の課題意識パターンが確認された。今後も、本研究を継続し、特別支援学校における「キャリア教育」実践の意義や教員の意識、課題等について追究していきたいと考える。

キーワード：特別支援学校 キャリア教育実践 満足度調査 自由記述文 テキストマイ
ニング